

「医療ソーシャルワーカー キャリアラダー・モデル

～セルフチェックを実施してみて～

日時：8月26日（水）18：00～18：20

目的：一人職場でラダーのセルフチェックを実施し、その課題と展望についてご意見を頂きました。

方法：Zoomにて実施

インタビュイー：守田 亜矢氏（札幌マタニティ・ウィメンズホスピタル）

インタビュアー：松原（研修部）



守田氏



松原

【自己紹介】

- ・勤務する機関の機能、所属する部署について（ソーシャルワーカー数など）教えてください。

札幌マタニティ・ウィメンズホスピタルの守田です。ソーシャルワーカーは1名で、福祉職は私だけです。平成29年より第2種社会福祉事業で特別養子縁組を札幌市で初めて実施するうえで、そのために福祉職もいたほうが良いだろうということで、他職種として働いていたがそのタイミングで配属となりました。所属は医療福祉相談室、所属長は看護職で、メンバー構成は私と助産師、週2回パートなんですが公認心理師がいます。2年位前から「養子縁組だけではなく特定妊婦の対応もしましょう」ということで配置をされています。

【ラダーを始めたきっかけ】

- ・動機づけについて教えてください。

院内に福祉職が一人しかおりませんし、スーパービジョンも受ける機会がありません。上司が看護職になるので、適切な評価が受けられないということで、自分がどのレベルにいるのか、自分が何を目指すべきなのかわからないので、そういったことを確認するためにラダーっていうものを使ってみようかなと思いました。

- ・ラダーのセルフチェックを初めて実施したのはいつ頃でしょうか？

協会に入ったのが、昨年秋くらいで、最初はまったくわからなくて、使い方もそうですがラダーⅠの『指導を受けながら』というのが自分の状況的にも当てはまらないなど思っていたのですが、7月の研修を受けて、一人でもできるということがわかったことと、実際に活用されている方のお話が聞けたので、まず今自分がやっている業務について、「まずはトライ、記載してみるから初めてください」ということを聞き、つけはじめたんですね。そしたらスーパービジョンを受けられなくても評価の基準や自分の課題がわかるようになって、目標が立てやすくなり、自分ができている部分というものはじめて知ることが出来て、それがちょっと励みになりました。

【セルフチェックをした後の感想について】

- ・セルフチェックに、どの位時間がかかりましたか？

時間はそんなにかからなかったのですが、注釈がついているのがすごくわかりやすくて、こういうところをやればいいんだとか、色んなところが少し見えてきたというか、わかりやすかったです。

- ・全項目チェックしたのですか？難しかった項目はありますか？

ラダーⅠとⅡをつけました。当院は年に2回人事考課があるので、自分が出来ている出来ていないなど目標設定に活用してみたり…、今までで2回つけました。

やっぱり評価のところ自分が客観的に見れないので、甘くなったり、厳しくつけたりがよくわからなくて…。理論のところ、今実際に介入しているものがどれに当てはまっているのか、勉強不足でわかりにくかったです。

- ・5つの項目のバランスとして、理論と実践、教育、研究、管理とありますがいかがでしたか？その中で評価が高かった項目はありますか？

研究は手つかずというか今後できるのかという、取り組んだ方がいいものなのかどうなのかというところですかね。あとは、自分ではつけているんですけど、結局項目を上司に見せても内容を理解できないので、結果あくまでも自己評価の活用に使っているという感じですね。なので今のところ私を評価するという、部署のための評価にはなっていないですね。管理のところですかね。健康管理ができるとか、倫理綱領を読む習慣とか…倫理綱領はいつも読むようにしています。新人駆け出しなので、立ち返るようにしないと。実践で介入はしているんですけど、本当に正しいのかとか、その時その時に相談出来たら良いなど。

- ・実際に他者評価がないことへの不安について仰っていたと思うのですが、他者評価をして貰えない中で、次に活かしていくにはどうしたら良いか考えていることはありますでしょうか？

年に2回つけてはみているんですけど、なかなかグッと伸びることとか、大きく評価が変わるということがないので、上げ方というか…。今はただつけるだけという形なんですけど、本当の意味での活用に繋がっていないかなと。だから、誰かにちょっと見て貰った方が良いのかなと…。

バランスというんですかね、さっき私研究は全然手を付けていないと言いましたが、どこから整えていけば良いのかということがわからなくて、自分が好きなどころだけ進んじゃうので…。同僚とか新人同士で「今どう？」と話せることができるといいのかなと。

【ラダーへの期待】

- ・守田さんのように、一人職場の方が活用していくうえで、協会として考えていくところではあるのですが、ラダーへの期待などがあれば教えてください。

7月の研修の時に実際に、一人職場で使っている人の話がすごく参考になったので、定期的に研修だけではなくて、資料とか配布物があったり、近い支部の人とかと相談ができるとか見て頂けるといふことがあると助かるなあと思います。院内でも新人の助産師さんに教育係がついて研修会を度々やっている姿を見ると、羨ましいなあと思いつつ見えています。励まされたり褒めて貰ったりとか、色々しながら、「あぁいいなあ」と思っています。

【実施していく人にむけてメッセージ】

- ・今後初めてラダーをやっていくという人に、背中を後押しするパワーフレーズをお願いします。

私もきっかけになったのが、その7月の研修で「とりあえずやってみる」、つまり「とりあえず取り組む」ということが一番背中を押されたんです。それまでは、結構手つかずで、自分とちょっと合わないな、環境と合っていないなと思って横に置いていたものを、もう1回開いて「やってみようか」という気になったので、とても背中を押して貰えたとか、「あぁ、私やっていいんだ。上司や仲間がいないと、できないと思っていたので…」。

【協会へのお願い（望むこと）】

- ・最後に、協会にどのような体制があれば良いか、何をして貰いたいのか忌憚のない意見をお願いします。

スーパービジョンを一人のところでも受けられる、研修会で実践している方の生の声っていうの聞ければ…。私は産科ですけれども、介護の現場であっても度の現場であっても、実践されている方の動きが見たいとか、聞きたいというのが強いので、そういう場があるとすごく助かるなと。講義を聞いて、グループワークをしてというのも大事なんですけれども、私はもう少し繋がりを求めていたので、そういう話が出来たら良かったなと思います。